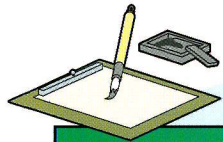


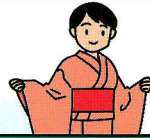


東藤島こうみんがんだより

●人口 3,507人(男1,711 女1,796) ●世帯数 1,319戸 (令和6年3月1日)
令和6年4月10日 福井市藤島町48-1-1 東藤島公民館 TEL54-0039 hfujik@mx1.fctv.ne.jp



令和6年度 公民館自主グループのご案内



講座名	曜日	時間	受講料	講師名(敬称略)
民踊	第1・2・3(火)	19:30~21:00	月 2,000円	吉岡 すす子
大菊クラブ	第 2(火)	13:30~15:00	年 2,000円	(特定講師なし)
サポネット	毎週(水)	9:15~11:15 <small>1・3週は初級・2・4週は中級</small>	月 1,000円	(特定講師なし)
リコーダーを楽しむ会	第 1・3(水)	10:00~11:30	月 500円	山下 和雄
合唱団	第 2・4(水)	10:00~11:30	月 1,000円	天谷 直美
あじさいクラブ	第 3(水)	10:00~13:00	月 500円	食生活改善推進員
大正琴 1	第 2・4(水)	13:30~15:30	月 2,000円	坂井 弘子
大正琴 3	第 1・3(水)	13:30~15:30	月 1,000円	広部 琴恵
太極拳	毎週(木)	10:00~11:30	月 2,500円	岡田 光子
フレッシュ体操	毎週(木)	13:00~14:00	月 1,500円	井田 夕美子
吟舞	毎週(木)	19:30~21:00	月 2,000円	渡辺 光奉
書道	第1・2・3(金)	9:30~11:30	月 3,000円	橋本 桃春
悠々会	第 3(金)	9:00~12:00	月 3,000円	井上 一二三
日舞	毎週(金)	13:30~14:30	月 3,000円	藤間 勲賜
安来節同好会	第 2・4(土)	9:30~11:00	月 2,000円	(特定講師なし)
スポーツダンス	毎週(土)	19:30~21:00	月 2,000円	伊藤 幹雄

※あじさいクラブは健康料理教室です。 ※サポネットは、パソコンのサークルです。 ※悠々会は懐石&郷土料理研究会です。
※講座に関心のある方は、いつでも見学においでください。

福井市市民憲章の実践目標が変わります

福井市市民憲章は、昭和39年の震災記念日に市民の精神的支柱として制定されました。

現在の実践目標は平成31年4月から唱和され、令和6年3月末で終了しました。令和6年2月29日不死鳥のねがい(福井市市民憲章)推進協議会で、新しい実践目標が決定されました。

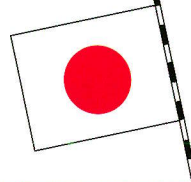
日常生活の中での実践を通して、市民憲章を身近に感じ、福井市民としての誇りと不死鳥の精神を培っていきましょう。

- 1 親切奉仕
声かけと 笑顔でうまれる 地域の輪
- 2 健康増進
スポーツで 心も体も さわやかに
- 3 郷土美化
まちの美化 広がる緑と豊かな心
- 4 安全安心
防犯防災 日々の声かけ 心がけ
- 5 文化教養
伝えよう 私が知ってる 福いいネ!

休日は スマホもお休み 家族の絆を充電中 東藤島小児童作品

祝日には国旗を掲げよう!

- 4月29日(月)昭和の日
- 5月 3日(金)憲法記念日
- 4日(土)みどりの日
- 5日(日)こどもの日



公民館休館日

- 4月15日(月)・21日(日)・22日(月)
- 29日(月)・30日(火)
- 5月3日(金)・4日(土)・5日(日)
- 6日(月)

「はたちのつどい」が行われました

はたちのつどいは3月16日(土)に行われ、本年は、平成28年3月に東藤島小学校を卒業された38名のうち、23名の方々が参加されました。当時担任いただいた吉田憲弘先生、下崎美江先生、松山啓子先生、故田優樹先生と卒業時の校長先生である山口昌一先生から祝福激励を賜りました。

式典の中で、小学校で書いた“私の夢カルテ”を一人ひとりにお渡ししました。

懐かしい友人たちと現在の夢などを語り合い、心温まるひと時を過ごしました。

新成人の声 20歳になって思うこと。

- ・嬉しいような複雑
- ・心は小学生のまま
- ・自由になった
- ・みんな大人になってる
- ・責任感が大切になった
- ・自己を強く!
- ・色々なことに興味を持って積極的になりたい



将来の夢

- ・お嫁さん
- ・介護福祉士 (国家資格取得)
- ・古着のバイヤー
- ・プログラマー
- ・人の役に立つ仕事に就く
- ・一人暮らし
- ・サッカー選手
- ・教師
- ・作業療法士
- ・ネイリスト
- ・出版関係 (本を作る)

お祝いの言葉 (抜粋)

小学校の卒業時に「努力」について話したことを覚えていますか? 「努力は報われる」という言葉は、「がんばればきっといいことがある」という簡単な意味ではありません。人は良い結果を求めて努力をしますがいつもうまくいくわけではありません。その時、それまでの努力が無駄になってしまうのではなく、皆さんの中に蓄積されているのです。そしていつの日かその努力が報われるのです。問題は、「いつか」と「どんな形で」かが誰にもわからないことです。確実に分かっていることは、「努力を続け

なければ結果もない、諦めたら終わり」ということです。

みなさんが、未来に必ず到達する素晴らしい結果を信じて、日々の努力を続けることが、目標へ向かう第一歩だと思います。そして、社会を支え、社会に役立ち、ふるさと東藤島を愛する人へとさらに成長され、幸せな人生を歩まれることを願います。

※ご参加いただいた先生を代表し、山口校長先生の言葉を掲載させていただきました。

重点目標 あいさつ・国旗掲揚・環境美化



くらしの提言

駐在所だより

☆福井県警察防犯アプリ「ふくいポリス」運用開始!

「ふくいポリス」は、福井県内の犯罪発生情報や防犯情報などをお届けするほか、防犯ブザー機能、ちかん対策機能など安全安心に役立つ便利な機能を提供する福井県警察公式アプリです。

【主な機能】

○プッシュ通知機能

不審者などの情報をタイムリーにお届け!

○マップ機能

あなたの周りの事件・事故をマップ上に表示

○パトロールポイント機能

防犯・交通ボランティア活動を実施するとポイントを獲得。ポイントは防犯グッズ等と交換できます。

○防犯ブザー・ちかん対策機能

あなたのスマホが防犯ブザーに!

※お使いのスマートフォンがiPhoneの方は、App StoreでAndroidの方は、Google Playで、「ふくいポリス」を検索してインストールしてください。

アプリの使用方法など詳しくは、福井県警察ホームページから防犯アプリ「ふくいポリス」インフォメーションをご覧ください。



防犯パトロール

4月20日(土) 午後7時~午後9時

福井警察署 ☎52-0110

移動図書館

「あじさい号」巡回日

5月15日(水) 11:00 ~ 11:20



スポーツ協会コーナー

令和5年度のスポーツ協会の事業は全て終了しました。

残念ながら中止となった競技もありましたが、皆さんのおかげで参加数も増え、大いに盛り上がった競技も多くありました。ありがとうございました。

令和6年度は、5年ぶりに東藤島区民体育祭を開催します。競技内容もリニューアルし、より参加しやすい大会になるよう準備を進めています。また、復活を祝して、福井市消防音楽隊による演奏も予定しています。

令和5年度の勢いそのまま、63年目のスポーツ協会の活動を始めていきたいと思っておりますので、本年度もご協力、ご参加の程お願いします。

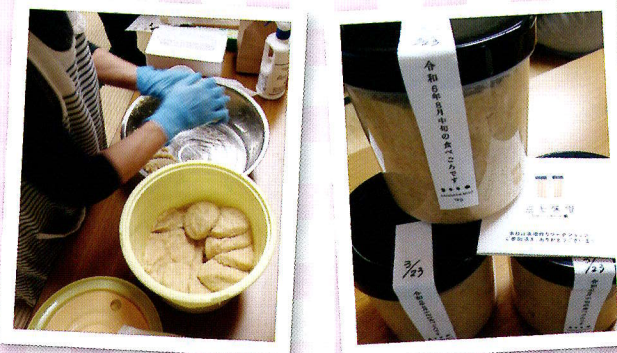
学級通信

家庭教育事業

「手前味噌作り教室」

3月23日の教室では、「三七味噌」から講師をお招きし、手作り味噌の仕込みを体験しました。

蒸大豆を機械を使ってミンチ状にした後、塩切り麴を混ぜ合わせ、空気を抜きながら仕込み樽に仕込んで完了。後は各家庭でゆっくり発酵しながら暑い夏を越し、8月中旬ごろに家庭ごとに味が違う美味しい手前味噌が出来上がります。参加者の皆さんは、味噌の出来上がりを楽しみに会場を後にしました。



福井市東消防署東分署からの お知らせ

皆さんは119番通報をしたことがありますか?

何を話したら良いのか、通報する際のポイントをご紹介します!

通報のポイント

1 火災・救急の別

「火事です。」又は「救急です。」とはっきり伝えましょう。



2 場所

住所は、正確にはっきりと、目標物も伝えましょう。

3 火災の場合

燃えている物や建物、燃えの状況、逃げ遅れた人の有無等を伝えましょう。

4 交通事故・急病・怪我の場合

事故の概要、傷病者(負傷者)の数、傷病者の年齢、性別、また、意識や呼吸の有無や容態、怪我の程度、そして、持病や通院中の病院等を伝えましょう。

5 通報者の氏名・連絡先

最後に、通報者の名前と電話番号をはっきり伝えましょう。

火災が発生しやすい 時季を迎えました。

春は強い南風が吹き、空気が乾燥する季節で、山火事や焚き火が燃え広がるなど、火が発生しやすい時季となりますので、火の取り扱いには十分注意してください。



(お問い合わせ先)
福井市東消防署 東分署
☎57-0119
火災・救急は「119番」です。
正しい「119」番通報をお願いします。



子どもたちに残したい 美しい日本の歌



靴が鳴る 清水 かつら 作詞
弘田 龍太郎 作曲

- 1 お手つないで みんな可愛い 野道を行けば
みんな可愛い 小鳥になって 靴が鳴る
晴れたみ空に 靴が鳴る
- 2 花をつんでは みんな可愛い お頭にさせば
みんな可愛い うさぎになって 靴が鳴る
晴れたみ空に 靴が鳴る

童謡「靴が鳴る」は、作詞者の清水かつら(明治31~昭和26)が編集していた雑誌「少女号」の大正8年11月号に、曲譜付きで掲載されました。作曲者の弘田龍太郎(明治25~昭和27)は、昔からある日本の音階を用い、低い音から高い音になっていくよう配慮しています。清水自身がこの唄の旋律に別の歌詞『幼児遠足会の歌』(「幼年倶楽部」昭和11・7)や、いまの1番と2番の間に新作の2番を挿入した二種類のレコードもあります。アメリカでも、少女スターのシャーリー・テンブルの歌うレコードが発売されました。昭和22年版の教科書では、「可愛い」を「かわいい」に、「行けば」を「いけば」に、「み空」を「お空」に改作しましたから、いまこの唄には二種類の楽譜があります。清水は、関東大震災を機に転居した埼玉県白子村(現和光市)で、まだ、武蔵野の自然が残っている白子川の岸を散歩しながら作詞しました。このころにはまだ珍しかった革靴が題材になっています。中流家庭の子どもが上等なよそいきの靴をはいたときの嬉しさが歌い込まれました。なお、靴は軍靴だという説もありますが、何の根拠もありません。

【エピソード】二人目の出産で実家に帰っていた時、長女の相手はいつもおじいちゃんでした。毎日のように『靴が鳴る』の歌を歌いながら、長女と公園めぐりをしてくれました。この話をした時も「絶対この歌残してね。おじいちゃんの歌やけん」と、開口一番言うくらいでした。今は持病が悪化し、杖をついても長くは歩けなくなった父ですが、この歌の中には元気なころの父の姿がいっぱいつまっています。子どもが大きくなるにつれ帰省の機会も少なくなりましたが、大切な思い出の曲となっています。

参考資料:「親子で歌いごう日本の歌百選」(文化庁編)